

## 健康飲料としての発酵ウコン茶に関する検索

## —発酵ウコン茶に嗜好意欲尺度の調査—

○福永淑子\* 竹下徹\*\* 竹内いづみ\*\*\*

(\*上野学園大短大、\*\*発酵ウコン(株)、\*\*\* (株)フルハウス)

目的 ウコンは、独特の苦味や香りなどがあるので、嗜好性はよくないと言われていたが、バイオテクノロジーの技術向上により有用微生物を作用させ発酵ウコン茶に、主成分の`クルクミン・セレンウム`の抗酸化作用を用い、体内に吸収されやすい乳酸カルシウムに変化させ、摂取しやすいお茶に仕上げた。最近流行の健康飲料ブームを考慮し、その嗜好傾向を一般のウーロン茶と比べ、10代から70代の年齢層別嗜好意欲尺度を調査した。

方法 草加市消費者団体くらしの会の料理講習会と上野学園大学短期大学部家政科の学園祭の参加者178名を対象にパッケージ、ラベル、味、香り、容量、効用の認識などについて官能検査によりアンケート調査を行った。

結果 20歳前後の若い年齢層はパッケージ、ラベル、味、香り、容量と効用の認識に有意差があり、不評であった。しかし、年齢層が高くなるに連れて好評であった。だが味、香りはウコン独特の味及び香りが少し残っているため、若い年齢層の方は嗜好意欲が少なかった。また、年齢層が高くなるにしたがってウコンの薬効の認識が多くなり、続けて飲みたい傾向も見られた。